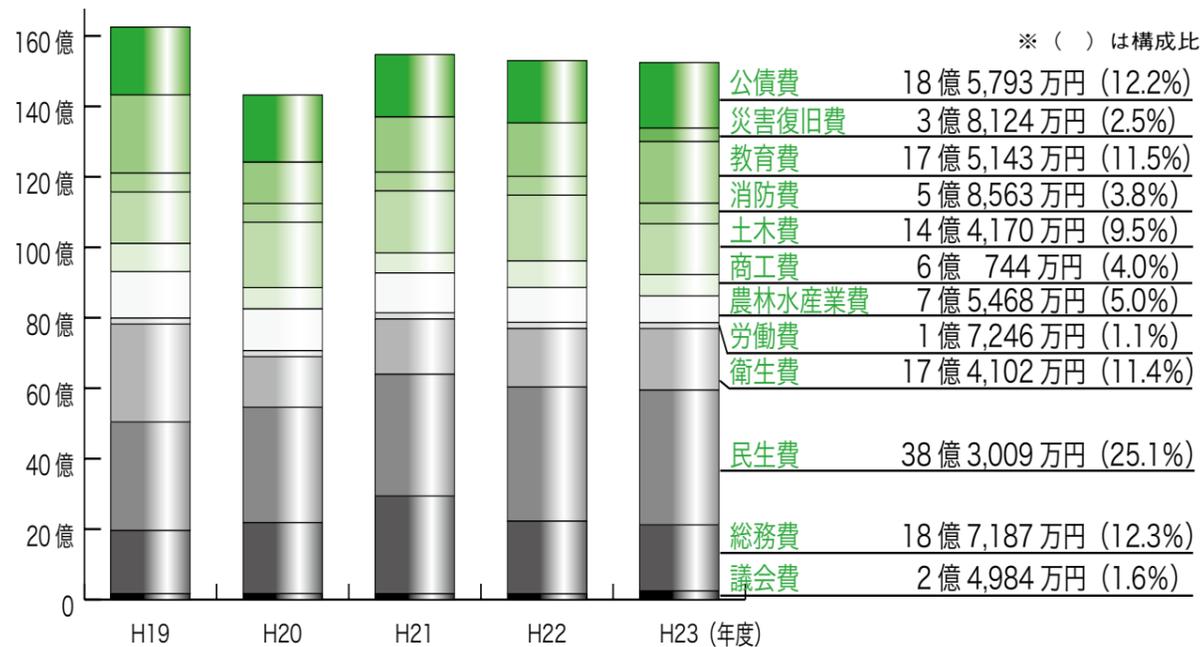


## 02 一般会計「歳出」 152億4,533万円



### ●主なもの ※ ( ) は前年度比較

#### 【民生費】(2,415万円増)

高齢者・児童・障がい福祉などに使うお金で、平成17年度以降毎年増加しています。

#### 【教育費】(2億3,115万円増)

小浜中学校の北館改築事業などで増加しました。

#### 【公債費】(9,097万円増)

市債(借入金)の返済に使うお金です。

#### 【衛生費】(8,174万円増)

病気予防やごみ処理などに使うお金です。杉田玄白記念公立小浜病院の高度医療施設整備の負担金や、国の制度によるワクチン接種費用が増加したことなどから増加しました。

#### 【災害復旧費】(3億8,124万円増)

平成23年5月の豪雨災害で被災した道路、河川などの復旧工事で増加しました。

### 一般会計を読む!

## 平成23年度の一般会計は?

平成23年度の一般会計は、前年度決算規模と比べて約0.4%減少となりました。

歳入では、法人市民税収の増加により、市税が約2%増加しましたが、国庫支出金が約8%減少し、総額は1億8,383万円減少しました。

歳出では、防波堤整備事業の完了などで農林水産業費が約24%減少。また、市営山手団地の完成や小浜西インター整備事業の完了などにより土木費が約23%減少し、総額は5,523万円減少しました。

大型プロジェクトにかかる借入金の返済のピークは平成23年度に超えましたが、財政状況は依然厳しい状態にあります。今後も「行政のスリム化」「支出のダイエット」に取り組み、持続可能な財政運営を行います。

ここを check !



財政課 高島圭直

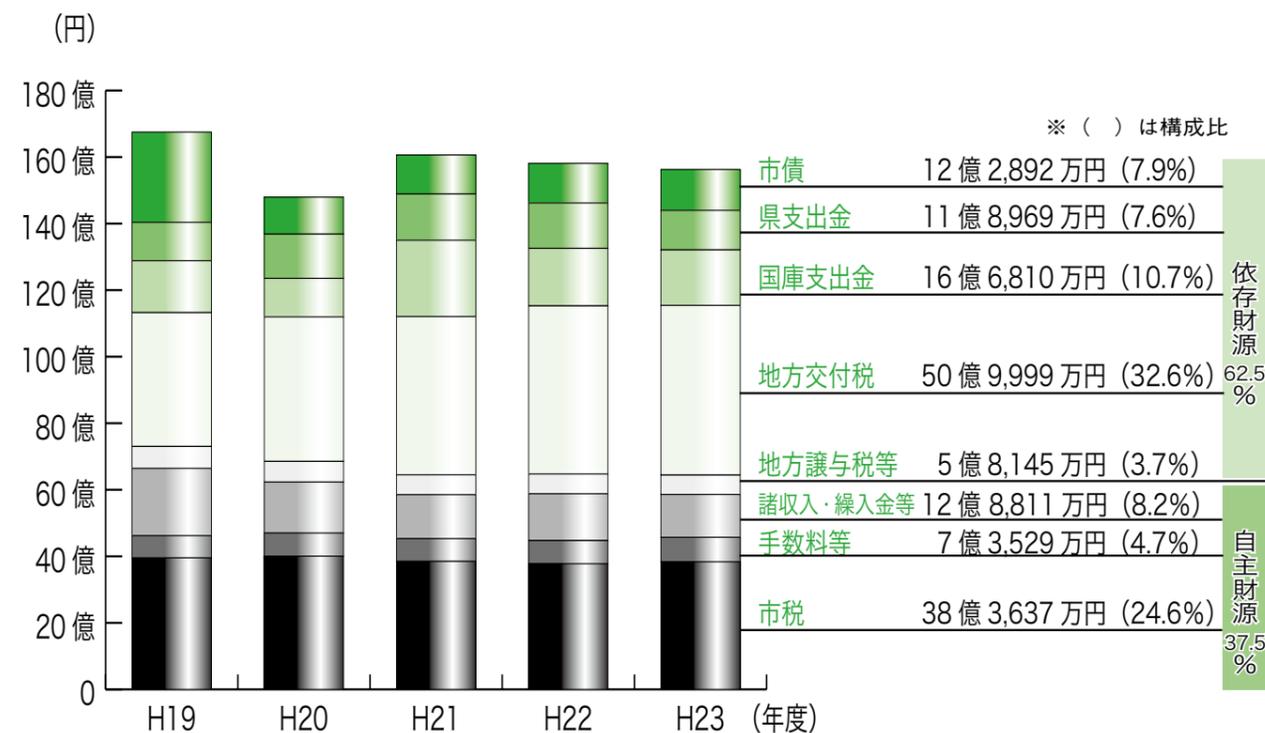
## 財政状況を読もう!

# 平成23年度 決算報告

平成23年度の決算がまとまりました。小浜市の財政状況が、5年前からどのように変わってきているのか、グラフを使ってお知らせします。

■問い合わせ 財政課 ☎内線333

## 01 一般会計「歳入」 156億2,792万円



### ●主なもの ※ ( ) は前年度比較

#### 【市税】(5,934万円増)

皆さんに納めていただいている市民税、固定資産税、都市計画税などです。

#### 【地方譲与税等】(1,334万円減)

国税の一部が一定の基準で譲与されるものです。

#### 【地方交付税】(4,859万円増)

財政力に応じて国から交付されるものです。

#### 【国庫支出金】(6,247万円減)

市が行う事業に対し、用途を限定して国から交付されるものです。

#### 【諸収入・繰入金等】(1億1,811万円減)

繰入金や受託事業収入、雑入、基金の取り崩しなどです。

#### 【市債】(3,754万円増)

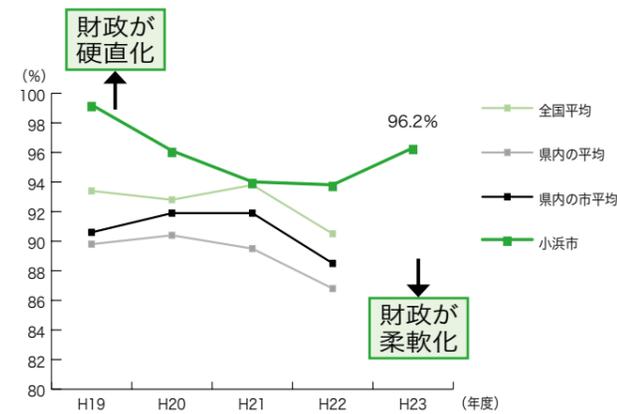
借入金のことです。

## 06 経常収支比率

$$\text{経常収支比率} = \frac{\text{経常的に支出される経費}}{\text{経常的に収入する金額}}$$

家計に例えると、住居費、光熱水費など毎月確実に支出される経費が、給料のどのくらいを占めるかを表します。数値が低いほど自由に使えるお金が多くなります。

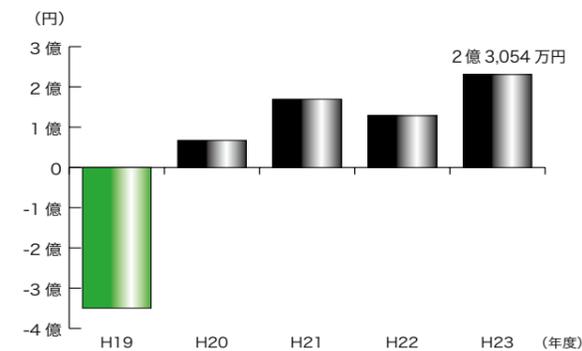
公債費の増加などで、2.5%増加しました。



## 05 実質単年度収支

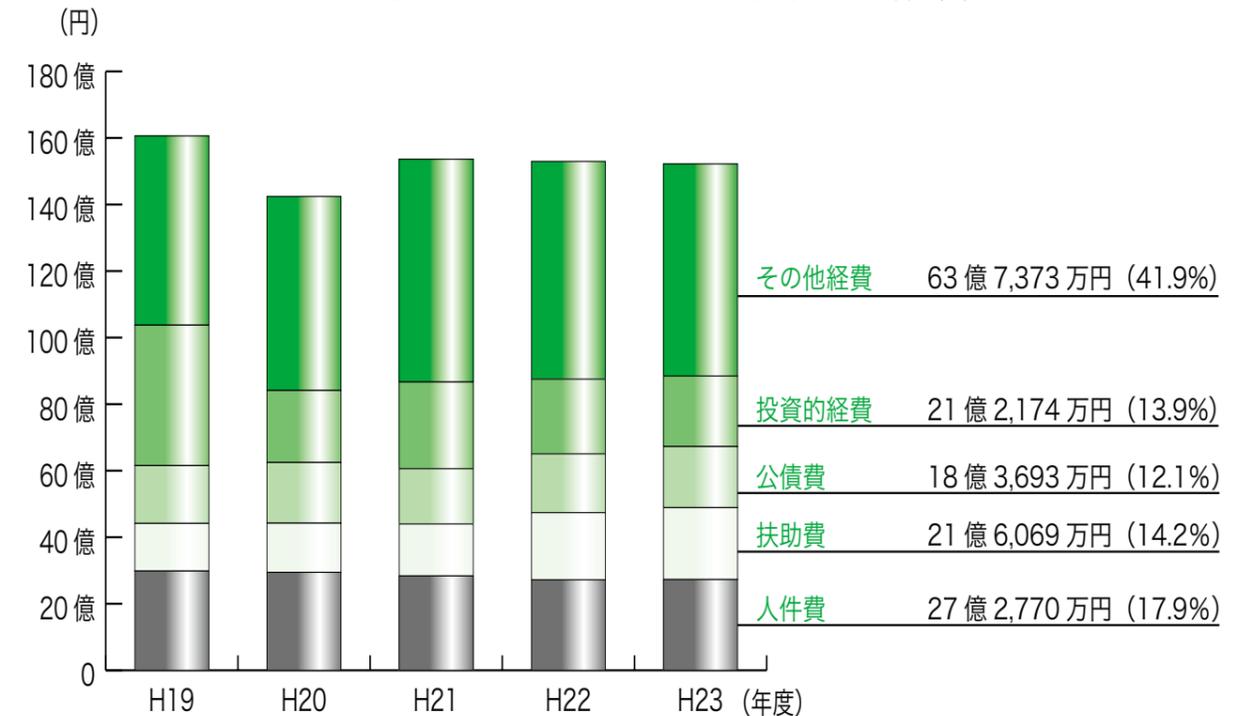
$$\text{実質単年度収支} = \text{実質収支} - \text{前年度実質収支} + \text{基金の積み立てなど} - \text{基金の取り崩しなど}$$

純粋な単年度収支状況を表したもので、財政調整基金の取り崩しは、マイナスに働きます。平成16年度以降、4年連続で赤字でしたが、人件費や借入金の抑制など行財政改革の取り組みにより、平成20年度から4年連続黒字になりました。



## 03 性質別歳出「普通会計」152億2,079万円

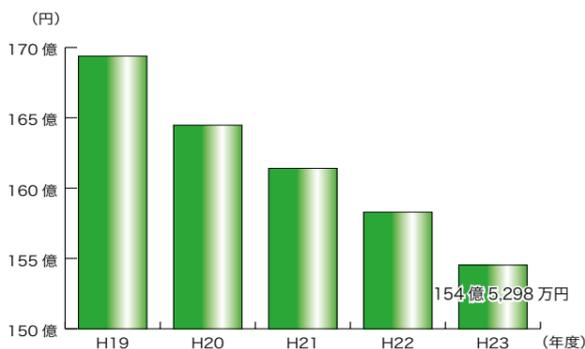
普通会計とは、全国の自治体の財政比較などを行うために、統計上統一的に用いられる会計区分です。そのため、一般会計とは額は異なります。



## 08 借入金残高 (普通会計)

平成19年度に突出しているのは、「リサイクルプラザ」「小浜小学校」の建設費として借入れたためです。

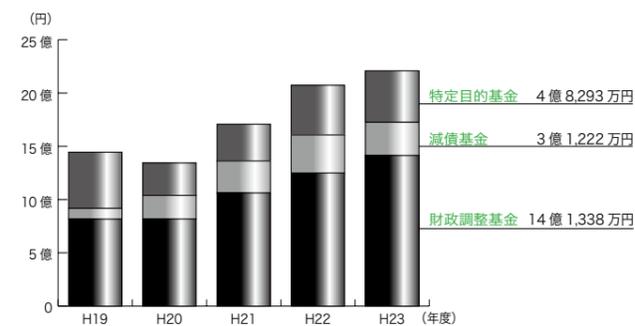
中期財政計画で新たな借金を抑制していく方針であり、今後も減少していく予定です。



## 07 市有財産 (貯金残高)

**特定目的基金**…使い道がしっかり決まった貯金  
**減債基金**…借入金返済のための貯金  
**財政調整基金**…財源が著しく不足する場合に対応するための貯金

大型プロジェクトにかかる借入金の返済のピークは平成23年度に超えましたが、今後の大規模事業にそれぞれ対応するため、各基金に積み立てました。



### 【投資的経費】

道路や施設の建設費です。市営山手団地の事業費減少や、小浜中学校武道館建設など大型事業の終了により約5億1千万円減少しましたが、平成23年5月の豪雨災害の復旧事業で約3億8千万円増加し、全体で約1億2千万円減少しました。

### 【公債費・扶助費・人件費】(義務的経費)

人件費が0.2%増加、扶助費(社会保障費)が7%増加、公債費(借入金の返済)が4%増加し、全体で3.3%、約2億2千万円増加しました。

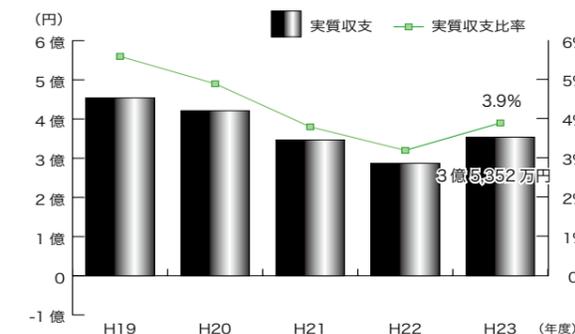
### 【その他経費】

活性化基金積立額の減少や、第3セクターへの貸付金の減少により、約1億7千万円減少しました。

#### 《その他経費の内訳》

物件費、維持補修費、補助費等、積立金、投資及び出資金、貸付金、繰出金

## 04 実質収支と実質収支比率



実質収支=歳入-歳出-翌年度に繰り越すべき財源  
 実質収支比率=実質収支÷標準財政規模

平成21年度から、実質収支比率が一定以上の赤字になると、国などが関与して財政の健全化を行うこととなります。

小浜市は現在、黒字が続いています。

# 13 健全化判断比率(実質赤字・連結実質赤字・実質公債費・将来負担比率)

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に規定された財政指標について次のとおり公表します(資金不足比率については12ページ参照)。

小浜市では、いずれの指標とも早期健全化基準以下であり、健全(安全)な財政状況です。

	①実質赤字比率	②連結実質赤字比率	③実質公債費比率	④将来負担比率
<b>早期健全化基準</b>	<b>13.52%以上</b>	<b>18.52%以上</b>	<b>25.0%以上</b>	<b>350.0%以上</b>
平成23年度	赤字なし	赤字なし	13.3%	112.8%
平成22年度	赤字なし	赤字なし	13.5%	117.4%
平成21年度	赤字なし	赤字なし	13.8%	136.0%
平成20年度	赤字なし	赤字なし	13.9%	145.4%
平成19年度	赤字なし	赤字なし	13.3%	151.1%

※早期健全化基準を超えると、財政健全化団体となり財政健全化計画の策定が義務づけられます

ここを check!



## 健全化判断比率を調べる!

### ①実質赤字比率

一般会計の赤字額の程度を指標化して、財政運営の深刻度を示すものです。この比率が高くなるほど、歳入確保と歳出削減の対応策が必要となります。

小浜市では実質赤字額がないため算定されません。

### ②連結実質赤字比率

一般会計だけではなく、特別会計と企業会計も合算した額で赤字額の程度を指標化して市の財政状況を示すものです。

小浜市では連結実質赤字額がないため算定されません。

### ③実質公債費比率

市の借入金返済額と一部事務組合(消防や病院など)に対して市が負担すべき経費を、市税と地方交付税などの額と比較して指標化し、その資金繰りの危険度を示すものです。

小浜市は、「リサイクルプラザ」「小浜小学校」建設にかかる借入金の返済(公債費)のピークは、平成23年度に超えましたので、返済額は今後減っていきます。

### ④将来負担比率

市の一般会計の借入金(地方債)や将来支払わなければならない可能性のある負担などを、現時点の残高で指標化し、将来、その負担額が市の財政運営を圧迫する可能性が高いかどうかを示すものです。

小浜市は、借入金の残高が減少していくことから徐々に改善されると考えられます。しかし、本市以外の組合や第3セクターの経営状況にも左右されるため、その動向にも注視していきます。

# 09 特別会計

特別会計とは、特定の事業を行う場合や特定の収入で事業を行う場合に、一般会計とは区別して経理を行う会計です。特別会計では、使用料や保険料などの収入が主な財源になります。

会計名	歳入額	歳出額	資金不足比率	経営健全化基準
国民健康保険事業特別会計	31億3,210万円	29億6,760万円		
加斗財産区運営事業特別会計	2万円	1万円		
簡易水道事業特別会計	1億489万円	1億183万円	-%	20.0%
駐車場事業特別会計	2,367万円	2,367万円		
下水道事業特別会計	18億7,088万円	18億730万円	-%	20.0%
農業集落排水事業特別会計	4億5,360万円	4億4,862万円	-%	20.0%
漁業集落環境整備事業特別会計	4,891万円	4,515万円	-%	20.0%
介護保険事業特別会計	28億6,319万円	28億2,985万円		
後期高齢者医療特別会計	3億4,634万円	3億4,573万円		

※「資金不足比率」は、公営企業の経営状況の深刻度を示すものですが、各会計とも資金不足額がないため、算定されません

※「資金不足比率」が、経営健全化基準を超えると、経営健全化計画の策定が義務づけられます

# 12 第3セクター

第3セクターとは、国・地方公共団体(第1セクター)と民間事業者(第2セクター)との共同出資により設立された法人です。

## (株) ケーブルテレビ若狭小浜

営業費用	3億4,183	営業収益	3億9,462
営業外費用	1,053	営業外収益	438
法人税等	2,072	特別利益	9,242
特別損失	8,191		
当期純利益	3,643		
計	4億9,142	計	4億9,142

流動資産	3億1,858	流動負債	3,595
固定資産	5億9,265	固定負債	5億6,687
繰延資産	98	資本金	4,000
		利益剰余金	2億3,939
		積立金	3,000
計	9億1,221	計	9億1,221

## (株) 小浜市総合卸売市場

営業費用	1,503	営業収益	1,713
営業外費用	55	営業外収益	94
法人税等	74		
当期純利益	175		
計	1,807	計	1,807

流動資産	2,604	流動負債	620
固定資産	1億5,813	固定負債	3,367
		資本金	8,000
		利益剰余金	6,430
計	1億8,417	計	1億8,417

※おばま観光局(株式会社まちづくり小浜)の決算報告は14ページをご覧ください

# 10 水道事業会計(企業会計)

企業会計とは、民間企業と同じように事業で得る収益で運営する独立採算型の会計です。

営業費用	3億8,190	営業収益	4億1,266
営業外費用	6,416	営業外収益	839
当年度純損失	2,501	特別利益	0
計	4億2,105	計	4億2,105

資本不足比率 -%

流動資産	3億7,929	流動負債	3,136
固定資産	66億7,930	資本金	33億3,148
		剰余金	36億9,575
計	70億5,859	計	70億5,859

経営健全化基準 20.0%

# 11 小浜市土地開発公社

事業原価	9,940	事業収益	7,790
販売費・一般管理費	71	事業外収益	113
事業外費用	682	繰越準備金取崩	3,703
当期純損失	6,493		
計	4,200	計	4,200

流動資産	9億2,156	流動負債	2億0,000
固定資産	11	固定負債	6億8,036
		資本金	400
		準備金	3,731
計	9億2,167	計	9億2,167